

◎原子力の非軍事的利用に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の二
国間協定に対する国際原子力機関による保障措置の適用に関する国際原子力
機関、日本国政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定を延長するための議定
書

(略称) 国際原子力機関、日本国及び米国間の保障措置移管協定の延長議
定書

昭和四十二年十一月二日 ウイーンで署名

昭和四十二年十一月二日 効力発生

昭和四十二年十一月九日 告示

(外務省告示第二二〇号)

目次

協定の効力延長のための合意	ページ
	五三三

(訳文)

原子力の非軍事的利用に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の二国間協定に対する国際原子力機関による保障措置の適用に関する国際原子力機関、日本国政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定を延長するための議定書

国際原子力機関、日本国政府及びアメリカ合衆国政府は、原子力の非軍事的利用に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の二国間協定に対する国際原子力機関による保障措置の適用に関する国際原子力機関、日本国政府及びアメリカ合衆国政府の間の協定を千九百六十七年十一月一日から千九百六十八年十月三十一日までの一年間延長することに合意する。

千九百六十七年十一月二日にウィーンで、英語により本書三通を作成した。

国際原子力機関のために

ジョン・A・ホール

日本国政府のために

穂崎 巧

アメリカ合衆国政府のために

フィリップ・G・ジャッキス

PROTOCOL EXTENDING THE AGREEMENT BETWEEN THE INTERNATIONAL ATOMIC ENERGY AGENCY, THE GOVERNMENT OF JAPAN AND THE GOVERNMENT OF THE UNITED STATES OF AMERICA FOR THE APPLICATION OF SAFEGUARDS BY THE AGENCY TO THE BILATERAL AGREEMENT BETWEEN THOSE GOVERNMENTS CONCERNING CIVIL USES OF ATOMIC ENERGY

The International Atomic Energy Agency, the Government of Japan and the Government of the United States of America agree to extend the Agreement between the International Atomic Energy Agency, the Government of Japan and the Government of the United States of America for the Application of Safeguards by the Agency to the Bilateral Agreement between those Governments concerning Civil Uses of Atomic Energy, signed on 23 September 1963, for a period of one year from 1 November 1967 to 31 October 1968.

Done in Vienna, this 2nd day of November 1967 in triplicate in the English language.

For the INTERNATIONAL ATOMIC ENERGY AGENCY:

(Signed) John A. Hall

For the GOVERNMENT OF JAPAN:

(Signed) Takumi Hozaki

For the GOVERNMENT OF THE UNITED STATES OF AMERICA:

(Signed) Philippe G. Jacques

（参考）

この議定書は、千九百六十三年の国際原子力機関、日本国及び米国の間の保障措置移管協定（昭和三十一年二国間条約集参照）の有効期間を千九百六十七年十一月一日から一箇年延長するものである。